



学校だより 2月



荏子田小学校

令和5年1月31日

www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ekoda/

月	火	水	木	金	土	日
		1	2 児童生徒交流部活 見学（ビデオ） PTA臨時総会（書面）	3 委員会活動	4	5
6 読み聞かせ1,2年 スクールカウンセラー来校日午後	7 クラブ活動 スクールカウンセラー来校日全日	8 フレンドチーム ありがとうの会	9 なんでも発表会	10 全校体力集会 なんでも発表会	11	12
13 児童朝会（学校保健委員会）	14	15 キッズ会議	16 読み聞かせ 3・4校時 6年	17	18	19 おやじの会 餅つき
20 集会	21 SSW来校日 スクールカウンセラー来校日全日	22	23 天皇誕生日	24	25	26
27 朝会	28 授業参観・懇談会 1年～5年（4年は総合発表会）					

3月の主な予定

1日（水） 6年生ありがとうの会

2日（木） 校外学習 5年

感謝の会・懇談会 6年

3日（金）～10日（金） 個人面談

16日（木） 給食終了 お別れ式

17日（金） 卒業証書授与式

※1～5年生は登校しません

23日（木） あゆみ配付

24日（金） 修了式・離任式

25日（土）～6日（木） 学年末休業



下校時刻一覧

登校時間は、7時55分から8時5分です。

通常の日程の日の下校完了時刻と、その下校完了時刻を表す印

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1	水	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40
		14:05	14:05	14:05	14:05	14:05	14:05
2	木	★	★	★	●	●	●
3	金	13:40	13:40	13:40	14:40	14:40	14:40
		14:05	14:05	14:05	14:05	14:05	14:05
6	月	★	★	★	★	★	★
7	火	13:40	13:40	13:40	14:55	14:55	14:55
8	水	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40
		14:05	14:05	14:05	14:05	14:05	14:05
9	木	★	★	★	★	★	★
10	金	★	★	★	★	★	★
13	月	★	★	★	★	★	★
14	火	★	★	★	★	★	★
15	水	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40
		14:05	14:05	14:05	14:05	14:05	14:05
16	木	★	★	★	★	★	★
17	金	★	★	★	★	★	★
20	月	★	★	★	★	★	★
21	火	★	★	★	★	★	★
22	水	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40
		14:05	14:05	14:05	14:05	14:05	14:05
24	金	★	★	★	★	★	★
27	月	★	★	★	★	★	★
28	火	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40	13:40

給食当番	14:05	★
掃除当番	14:30	

給食当番	14:50	●
掃除当番	15:05	

その週のお子様の当番については、学年や学級から配付されるプリントでご確認ください。

ペーパーレス化

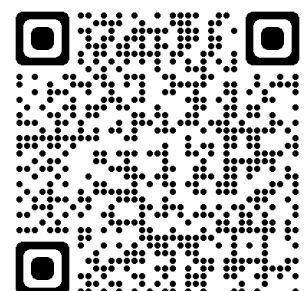
学校だより・学年だより、ほけんだよりについて12月より、スクリレを活用して、ペーパーレス化を進めています。

2月号も、先月同様に、配信していきます。併せて、アンケートを実施し今後のペーパーレス化をどう進めるかを決めていきたいと思ひます。ご協力ください。

なお、スクリレですが、PDFファイルでダウンロードし、プリントアウトすることができますようになっています。ご活用いただければと思ひます。

【アンケートはこちらから】

<https://forms.gle/tmpzQ8HbyFBQjBhn7>



スクリレアプリの登録ができていない場合、学校の方にお問い合わせください。また、機種変更した倍も、学校にご連絡ください。

学ぶことはまねることだと教えられたことがあります。真似をすることで、動きを身につけることができます。どのような過程を経て、結論を導き出すかを知ることができます。そういう意味で、真似ることが学ぶことにつながるということだと思います。今でも、技術的なことを学ぶ上では、この考え方が生きています。辛くても、苦しくしても学び続けることが必要だというのは、大人から見ると当然のことかもしれません。その考え方も真似ることから始まったという学びの原型が影響しているのかもしれない。

学ぶためには様々なハードルがあります。何をモチベーションにするのかというのが、まず課題でしょう。興味関心をもっていれば、それがモチベーションになります。好きなことですから、より知りたい、より考えたいと自然に思えるでしょう。しかし、学ぶことのモチベーションがあることだけを学ぶことはできません。必ずしも興味関心があることばかりではないからです。

特に、学校での学習は系統的に、計画的に進めています。ですから、最初から、子ども達が興味関心をもっていることばかりを扱うわけではありません。子どもがこれは、苦手だなと思うことを扱うこともありますし、興味ないなということを課題にしていることもあります。それでも、先生たちは学習を進めなければなりません。ですので、少しでも子どもたちが興味関心をもつように導く工夫をしています。先生たちは、子ども達が興味関心をもち、主体的に学習に取り組むことができるように奮闘するわけです。

家庭においても、子ども達がやる気をもって学習に取り組まないということをよく聞きます。家庭には魅力的なコンテンツがたくさんあり、それと学習が競合した時、学習することが子ども達の気持ちの中で優先するとは思えません。何か目標があり、そのことのために頑張るとか、すごく興味があり、どうしても、そのことを理解したいという気持ちがある場合は、学習が優先されるでしょうが、そうでなければ、学習が様々なコンテンツに優先されることはないと思います。

子どもたちも、そのことは理解しているのでしょう。中学生や高校生になると、魅力的なコンテンツから解放される空間、例えば、カフェや図書館などに行き、学習をする子も増えてくるのでしょう。

学ぶことは大切なことです。特に学校に通っている期間は、学ぶことを通して、自分自身がどのようなことに興味をもてるのかを探っていかなければなりません。学校生活の中で、学ぶことの楽しさを少しでも体験させていきたいと思えます。

(青木 勇)